

# 関西クィア映画祭2014 ～粹をこわしてワクワクする秋～

## ご来場のみなさまへ

ようこそ、関西クィア映画祭2014へ。私たち実行委員会で一番はじめに話し合ったことは、ここに来るために勇気を出して大変な思いをしてやってきてくれるであろう若い人たちを力づける場にしよう、ということでした。また、若い人だけでなく、ここに来たくても様々な理由や背景によって来ることのできない人にも思いをはせていたい。この場に来てくれた人も来れなかった人も、この映画祭にかかわるすべての人とともに作り上げてきた場であると考えています。

さて、あなたはどんな思いでここに来られたでしょうか。私たちは「クィア」という言葉を使って映画祭を開催することに戸惑っています。私たち自身の中に「性を越えることへの恐れや嫌悪」があるからです。実行委員会では意見が衝突し「解散したらどうか」「クィアという看板をやめたらどうか」「わかり合えないなら私はやめる」などの発言がありました。正しいとか間違っているとか、誰かの意見に反対するとかしないとか、途方もない議論を繰り返してきました。私たちが「クィア」という言葉を使って、この国で映画祭を開催するための土台が、ないのかもしれませんが。それでも、私たちは「クィア」によって励まされ、人とつながり、気づき、学んでもきました。だから「クィア」の持つ連帯の力をもう少し信じます。

ここに来られたあなたは「クィア」をどのように感じ、考えていますか？ 何も思ったことはありませんか？ 強い思い入れはあっても言葉にしづらいですか？ それぞれの思いを胸に、今年の映画祭にお越しいただいたことに、心より感謝申し上げます。

今年で9回目を迎える当映画祭は、2005年に大阪・梅田のHEPホールで第1回目を開催し、2010年からは京都の西部講堂を加えて2会場で開催してきました。今年はすてっぷホールでの1会場のみで開催することを決めました。関西クィア映画祭はこれまで、メジャーからマイナーまで、幅広く様々な傾向のプログラムを用意しており、同性愛をテーマにした作品に留まらず、トランスジェンダーやバイセクシュアル、インターセックス(性分化疾患)などを扱った映画を、日本で最も多く上映してきた映画祭でもあります。私たちは、過去の映画祭をつくりあげてきた人たちや、これまで映画祭にかかわってきた人たちの意志を、今年も引き継げるよう意識しながら運営を進めてきました。また、今年の特色もだしていこう、とアイデアをたくさん出し合いました。

関西クィア映画祭の実行委員会は、趣旨に賛同する人なら誰でも参加でき、全てのメンバーが無報酬で関わっています。また今年も、代表をおいていません。至らないことが多々あると思います。疑問や質問、またはご批判などがありましたら、お近くの実行委員・スタッフにお声かけいただくか、アンケートにご記入ください。

それでは、みなさまそれぞれの粹に「ワクワク」を感じながら、ごゆっくり映画祭をおたのしみください。

主 催：関西クィア映画祭2014実行委員会  
特別協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川  
協力：東京国際レズビアン&ゲイ映画祭(字幕)  
後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館  
後援：とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ  
指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

2014年10月17日